



## 【ロードバイクで行く別府・湯布院の現地○泊船中2泊弾丸フェリー旅】

【2018年1月 大阪府在住 S様】

(旅のコメント)

ロードバイクとともに大阪から別府・湯布院へ!  
さんふらわあならではの旅にわくわくどきどきしています!

(フェリーさんふらわあの旅1日目)

地元枚方から3名集合、輪行バックにロードバイクを収納し電車でさんふらわあターミナルへ  
すでにこの時点でかなり気分が高揚しています。

平日出発のため早めに出発はしましたが、  
やはり、大阪市内の地下鉄は込み合いました。。。  
しかし、無事4人目のメンバーとも合流し、さんふらわあターミナルへ到着。

普段置いてあってもなかなかやらない記念写真をノリノリでパシャリ  
ええ年した大人がテンション上がりすぎてしまっています。

さあ乗船が始まりいよいよ船に乗込みます。  
輪行バックでも十分な広さの通路です。  
出航時に見送りの為に手（誘導灯）を振ってくれます。



船に泊まろう。

10,000円~往復できます!  
弾丸フェリー・弾丸クルーズ





出航してしばらくすると、生演奏や着ぐるみでダンスの演出がありました。  
演奏が終った9時ごろに明石海峡大橋の下をくぐりぬけるところだったので、  
ちょうど見ることができました。

とてもきれいなので是非見てほしいと思います。



(フェリーさんふらわあの旅2日目)

別府港到着前にアナウンスで起床し、朝日を見ながら到着を待ちます。

到着すると、輪行袋は手荷物と同じ扱いなのですぐに下船できます。

ライドに必要なもののみを持って、

残りの荷物は別府港のロッカーに預けることができるので、最小限の荷物で旅をすることができます。

同日他の自転車乗りの方もいらっしゃいましたが、ロッカーは結構余裕あります。

準備が出来ていよいよ出発です。

気温は10°C以上ありロードバイクに乗るには絶好の天候になりました。

ここから湯布院を目指して出発したのですが、

今回時間の余裕が無い為大分駅まで移動し、電車で湯布院まで移動です。

途中オープン前のうみたまごで一旦休憩（すぐ着きます(笑)）

うみたまごの岸壁から、別府港に停泊しているさんふらわあが見えました。

右の写真に中心あたりに写っているのですが小さくて見えない・・・。



船に泊まろう。





フェリーさんふらわあ

大分駅に到着し再度輪行バックに収納します。  
そして、電車といえば駅弁ですよね。ということで、大分駅で駅弁を購入。

もう少し時間があれば、調べていたお弁当を購入しようとしていたのですが、  
時間ギリギリになってしまったので、次の機会があればその時にしたいと思います。

一時間の電車の旅もあっという間（寝てしまったから）に終わり湯布院に到着。



観光客が大勢いたため、ロードバイクを押してメイン通りを通行しました。  
特に韓国の方が団体で来ていたのか、異国情緒を感じるような状況で賑わっています。  
歩いていると目にひく看板を見つけ、  
お弁当を食べて間もないというのにもかかわらず、大分名物シイタケの天ぷらをいただきます。

これほんとおいしいんです！

シイタケは美味しいのはもちろんですが、柚子胡椒が効いて美味しさ倍増でした。

と、まあここまでロードバイクでなくても行ける旅程でしたが、ここからが本番（のはず）。  
湯布院は早々に（温泉に入れず、駅前の手湯？だけ）切り上げ、別府の地獄めぐりへ向かいいます。  
別府までは由布岳があるため、別府に向けしばらく上りになります。

最初は木々に囲まれ周りの風景が見えませんが、しばらく進むとこんな感じで景色が広がります。



船に泊まろう。

お子様は半額5,000円~/  
大人・子供・犬・車両・ペットOK  
関西→九州  
10,000円~往復できます!  
平日も  
週末も  
弾丸フェリー・弾丸クルーズ





フェリーさんふらわあ

坂道でしんどいのですが、時速10kmほどで登っていくので景色を堪能しながら進むことができます。ね、下の写真笑ってますよね。「狭霧台」で一旦休憩してからもうひと登りします。



そこからしばらくすると頂上に到着。

湯布院と別府との境です。頂上に終点と書いてありました。

車だと気づきませんよね。楽しみ方は色々ですがそんなところに気づいたりできることが、自転車旅の醍醐味といったところでしょうか。



船に泊まろう。

お子様は半額5,000円~/  
大人・子供 5,000円~/  
関西→九州  
平日も  
週末も  
10,000円~往復できます!  
弾丸フェリー・弾丸クルーズ





あとは別府まで一気に下ります。およそ30分くらいで到着です。

次の目的地としていた、地獄めぐりの「海地獄」。

コバルトブルーで地獄という表現に似つかわしくない綺麗な色をした温泉でした。

豊富に出ている温泉の蒸気を熱源とした温室で睡蓮を育てています。

シーズンではないようなので、全くありませんでしたが、育つと子供なら乗れるようです。

また温泉の蒸気を利用して作られている温泉卵と地獄蒸しプリンを頂きました。

これもまた疲れも相まって美味しい！！

ちょっと小腹がすいてきたので、「地獄蒸し工房 鉄輪」で蒸し料理を頂くことにしました。

高温の蒸気で一気に蒸し上げます。ちなみに全てセルフサービスです。



こんな感じになります。（左写真）

蒸気すごいです。

お店の方がついてくれますが、タイマーを渡され、  
時間になったら取りに行くという感じで少々せわしいです。  
(頼みすぎ?) ただ、ものすごく美味しいです。



その後別府市内を見渡せる展望台があるというので次の地獄に移動するついでに寄り道しました。

「湯けむり展望台」ノスタルジックな雰囲気を醸し出しています。

駐車場もあるので車でも見に行くことができます。

展望台に行く途中、実はもう少し近くで見渡せるところがあったので、

いったん止まって写真を撮りました。（右の写真）

実際見ると右の写真のほうが近くで見られてよかったですけど、写真だと普通ですね。

船に泊まろう。





その後少々トラブルで「血の池地獄」の入場に間に合わず、「龍巻地獄」へ移動。  
17時は過ぎてしまったけど、最後の噴出に間に合うとのことでバタバタで入場でき、  
30分に一回噴くいいタイミングで見ることができました。  
10分ほど噴き続け相当な水量が出てます。

17時も過ぎ、2日目の旅も終盤。

暗くなり始め船の出航時間も近づいてきたので、別府港方面へ戻ることにします。  
ここで私が一番食べたかった「とり天」（駅弁にも入ってたけど）を船での晩酌のおかずに買いに行きます。

（東洋軒）

このとり天が食べたかったんです。本当に。  
船で食べたので冷めてしまったけど、ああ美味しかったなあ。

写真は大きめでお届けいたします。

次行くときは、お店で食べられるように時間組もう・・・。

ということで、出航時間も近づいてきたので別府港へ戻ります。



さんふらわあが見えてきました。  
とうとう帰路につきます。

輪行バックへの収納も慣れてみんな早く段取りができるようになりました。

実は今回輪行旅行というか、そもそも輪行自体初めての体験で、  
ドキドキでスタートした旅でしたが、  
慣れてしまうと本当に楽しくロードバイクで行動できる範囲が  
ものすごく広がる事を実感した旅でした。



船に泊まろう。





港の従業員の方、フェリーの乗組員の方も丁寧に対応いただき非常にいい旅ができました。

別府港でも皆さんに見送りしていただきます。

船出の時にテープ垂らすやつありますよね。せっかくの機会なので、やってみたところ、強く投げすぎて手元10cmしかテープ残りませんでした（泣）なので写真係(笑)

その後、夜な夜な次の日声が枯れる程宴会が盛り上がり（私的にはとり天で気分MAX）  
ぐっすり眠ることができました。

（フェリーさんふらわあの旅3日目）

あっという間に大阪に到着。日の出が綺麗だったので写真に収め、この旅が終わりました。

今回「あなたが創るオリジナル弾丸フェリー旅」のモニターに選んでいただきありがとうございました。  
おかげで仲間と思いつきり楽しい旅を経験することができました。

所属する自転車コミュニティーのメンバー200人にフェリー旅の体験を伝えたいと思います。

### ☆今回の旅先での行程☆

別府港～大分駅～（JRで移動）～由布院駅～狭霧台～  
別府海地獄・龍巻地獄～東洋軒～別府港

(POINT)

- ・ロードバイクとJRで景色と食べ物を満喫！
- ・観光地も十分めぐることができます！

☆今回の行程でおすすめ「弾丸フェリー®」。往復10,000円～楽しめる船旅です。



船に泊まろう。

